

タウン・ミーティング

(市長と市民とのつどい)

1月27日、今年度最後のタウン・ミーティングを開催しました。3月27日に迫った下総町・大栄町との合併に関することや、昨今、全国的に問題となっている子どもたちの安全など様々な観点から市長と市民が意見交換を行いました。

駅周辺の整備

市民 一昨年、京成駅とJR駅を結ぶ暫定歩道ができて、たいへん重宝しています。しかし、私は平成元年から住み始めましたが、変わったのはそこだけだと思います。JR成田駅西口は、バスを降りて4階建てくらいの高さを階段で上がらなければなりません。また、朝夕は送迎の車で混雑します。市長が立候補前におっしゃっていた「ロータリーを2段にして、2階をバスロータリーにする」という案は大変良い提案だと思っています。いつ実現するか楽しみにしているのですが、いかがでしょうか。

市民 西口ロータリーは、一般車

の乗降場などに駐車する車がとても多い。もっと取り締まりをきつとすべきではないか。

市長 西口広場は、一般乗用車とバスのレーンを分けたり、タクシー乗り場を造ることによって、徐々に良くなっています。「駅前を2層にするのか」ということは、まだ踏み込んだ検討はしておりませんが、いろいろなお話を聞きながら、検討してみたいと思います。併せて駅前再開発の問題についてですが、一昨年、暫定歩道ができてから、人の流れが変わってしまっている、商店から「客が半減してしまっただ」という意見も出ています。頭の痛いところですね。時間はかかりますが、駅周辺の皆さんにご協力をいただきながら、検討を進め

ております。

市民 京成成田駅周辺に、トイレがなく不便に感じます。新設のトイレは維持費が掛かり大変です。行政から補助金を出して、駅周辺店舗に貸してもらえませんかとはできないでしょうか。

市長 確かに、京成駅側は駅の構内にしかないですね。即刻、関係会社とも調整しながら、できるだけ早く検討します。

新高速鉄道土屋駅

市民 新高速鉄道について、以前より要望が出ている土屋駅についての進展はごうですか。



新高速鉄道の通るウイング土屋地区

市長 土屋駅の設置については成田市の総意です。しかし、鉄道側にとっては東京までの所要時間短縮という課題があります。構造上に問題がないかというのを含め、今年度いっぱい総合調査を行い、検討を加えているところです。

観光館

市民 成田観光館について、3階部分を張り出すように面積を広げ、成田の文化財産などを常設展示したらよいのではないかと。

市長 今回の改修工事は、観光の機能も1階に備えながら、3階は各種の展示もできるようにしたい、ということなんです。ご意見のような大改造を今回は考えておりません。

各種審議委員の選出

市民 成田市にはいろいろな審議会があります。中には20年も委員をやっている方がいます。合併を機会に、大栄や下総の方もぜひ入れてもらって、新しい風を入れてください。

市長 各種審議会などは70くらいあります。欠員が生じた際に下総・大栄からも補充するというこ

とで調整を行っています。

合併後の国際交流

市民 様々な国の方が成田に来ると思いますが、合併後に下総・大栄にも行ってみたいような施設を造る予定はありますか。

市長 成田市には国際交流協会がございませう。スポーツなどをはじめ様々な交流を行っています。国際交流に限らず、このような話し合いの場を設けながら、努力していきます。

合併に際しての予算

市民 合併に際しての経費について一般会計が五百億円、特別会計など諸々を含めて七百億円ということですが、新たに大栄・下総に掛かる費用の説明をお願いします。

市長 成田の総予算として約五百億円近く算出しています。4月に入ってから下総・大栄の分を十億円ほど加算します。広報などで皆さんにお知らせします。

下総・大栄の施設の計画

市民 以前、新聞に「合併したら

下総町には新しい体育館を造り、大栄町には野球場ができる予定」と書いてあったのですが、それは事実ですか。また、どのような予定ですか。

市長 大栄町の野球場は、早く取り組みたいと思います。下総町は体育館よりも、356号線沿いに大きな用地を取得しており、そこに施設を造ってほしいという提言をいただいております。

航空機騒音問題

市民 騒音下に住んでいる方にとって、はたして騒音に対する補償が十分にできているだろうか。不満が出ているのではないかとこのことでお考えをお伺いします。

市長 北側延伸により騒音地域が拡大になります。市としては、できるだけ拡大してあげたいということ、空港会社・国・県と地元との騒音下の方々との間に入りながら総合調整をしています。ただし、基準は国の法律で決まっています。成田だけ特別扱いをできないというところが壁になっています。ですから、成田市独自で何かできないかという提案が議員からも地区からも出ています。それについては、今

の段階では、空港会社・国・県と地元で調整に取り組みます。

英語教育

市民 構造改革特区(国際教育推進特区)の認定を受け、市内の小学校で英語の授業を始めたということ、たいへん結構なことだと思います。この特区の利点を生かしく、より教育の質を向上させる努力をお願いします。市内には英会話教室や外国人に日本語を教えるボランティアの先生がいます。そういう方たちに協力いただいて、クラブ活動の一環で、子どもたちに関心や意欲を持たせるようなことも一考かと思えます。

市長 限られた時間の中で英語教育を進め、そして特区の利点を生かしながら、放課後という時間帯で民間の力を借りることも得策です。また、成田国際高校は外国語に堪能な生徒さんが多く、「生徒がボランティアで外国人への対応をしたい」という提案を高校側からいただきました。うまくすり合わせができないか研究しています。

小・中学校の統廃合

市民 小・中学校の統廃合について

では、若いお母さんは「少人数学級は良いが、やはり限度があります」と心配しています。学校はその地区の文化センターでもありません。反対意見もあるのではと思いますので、お伺いできたらと思います。

市長 学校統廃合の問題につきましては、今のご意見を尊重しながら、引き続き研究を進めていきたいと思えます。

子どもたちの安全

市民 市ならびに教育委員会が小・中学校の子どもたちの安全のために、どのような取り組みをし

ているのかお聞かせください。

市長 JR成田駅西口に成田市防犯巡回指導員事務所を設置して、市民ボランティアを中心にパトロール



市民ボランティアによる防犯パトロール

ールなどを行っています。また、市の生活安全部を中心に、地域ごとに防犯活動を行っていただいております。さらにこれらを拡大するということを考えていきたいと思えます。防災無線で下校時のアナウンスをといて意見も聞いています。1月からは事前にメールアドレスを登録済みの携帯電話に、何かあったら情報を発信できる学校情報配信システムを始めました。このような形で防犯体制を強めています。

タウン・ミーティングについて
くわしくは市民支援課 ☎20・1507へ。

市民とともに



市政について、市民の皆さまと直接語り合うタウン・ミーティングに、平成17年度も多数ご参加いただきありがとうございました。皆さまのご協力に心より感謝を申し上げます。

今、時代は大きく変わろうとしております。これからのまちづくりは市民と行政が一体となって進めることが、ますます重要となってまいります。そのような意味から、市民の皆さまに市政について理解を深めていただき、また市民の皆さまのお考えを直接お聞きすることのできるタウン・ミーティングは大変重要な役割を担うものであります。

ご案内のように、来る3月27日は下総町、大栄町との合併により、12万人の新生成田市がスタートいたします。

本年も、市民の皆さまとの対話を大切に、市民が夢を育み、希望に満ちた成田市をつくりあげるため市民の皆さまとともに努力してまいります。どうか、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。